

和歌山県白浜町の瀬戸臨海実験所構内に大量出現した熱帯性の サツマゴキブリ (ゴキブリ目, ゴキブリ上科)

久保田 信

〒649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町459
京都大学フィールド科学教育研究センター瀬戸臨海実験所

Mass appearance of a tropical cockroach, *Opisthoptatia orientalis* (Blattaria, Blattoidea) in the campus of the Seto Marine Biological Laboratory at Shirahama, Wakayama Prefecture, Japan

Shin Kubota

Seto Marine Biological Laboratory, Field Science Education and Research Center,
Kyoto University, 459 Shirahama town, Nishimuro, Wakayama, 649-2211 Japan

Abstract. In summer of 2011, especially in July, many individuals (maximally 0.2 individuals/m²) of tropical cockroach *Opisthoptatia orientalis* appeared in the campus of the Seto Marine Biological Laboratory, Kyoto University at Shirahama, Wakayama Prefecture, Japan owing to global warming.

Key words: tropical cockroach, *Opisthoptatia orientalis*, Shirahama, Wakayama, global warming.

(要約) 2011年の夏季、特に7月に、和歌山県白浜町に所在する京都大学瀬戸臨海実験所の研究棟から正門内側手前の舗装道路上に(長さ173 m, 幅4 - 5.1 m; 753.6 m²), サツマゴキブリが例年を大きく上回って多数出現したので(最多で1m²当たり0.2個体)、地球温暖化の影響を示す一例として記録する。

はじめに

世界に約3000種、我が国に約40種が生息するゴキブリ類のうち、南方系のゴキブリ類の1種であるサツマゴキブリ *Opisthoptatia orientalis* は、自然分布は九州以南だが、和歌山県白浜町で1999年に初めて発見され、人為分布と推察されている(後藤, 2000)。著者は2002年7月に江津良の海岸道路上で遭遇(榎山・久保田, 2002)して以来、町内のいろいろな場所で発見し(久保田, 2006a, b)、最近では近郊の田辺市でも見つけた(久保田, 2008, 2010b)。また、和歌山県白浜町に所在する瀬戸臨海実験所構内に出現した熱帯性ゴキブリ類中、オオゴキブリ *Panesthia angustipennis spadica* やワモンゴキブ

り *Periplaneta americana* (榎山・久保田, 2002: 2種とも1994年1月に榎山が発見)に次いで2009年に第3種目に見つかった。その後、サツマゴキブリは、瀬戸臨海実験所構内では約10年の間に個体群は増加し、2010年9–12月の秋冬季に、実験所研究棟入り口付近から正門前の道路上で頻繁に出現した(久保田, 2006a, b, 2009, 2010a, b, c)。今回2011年になって記録がなかった夏(6–8月)に、研究棟入り口付近から正門前の道路上で多数が出現したので(図1)、地球温暖化に関連した一例として報告する。

材料と方法

2011年夏(6–8月)のいろいろな時間帯に、

*連絡先 (Corresponding author): shkubota@medusanpolyp.mbox.media.kyoto-u.ac.jp

和歌山県白浜町に所在する瀬戸臨海実験所研究棟入り口付近から正門前の道路上(長さ 173 m, 幅 4 - 5.1 m; 面積; 468 + 285.6 m²)で, サツマゴキブリの出現した個体数をカウントした(図 1). サツマゴキブリは人の足音がしても, 夜間に光をあてても逃避行動はほとんどおこさないで, カウントは容易にできた. 7月の中旬が出現ピークであり, 記録する.



図 1. 和歌山県白浜町に所在する瀬戸臨海実験所正門前の舗装道路上に出現したサツマゴキブリ(2011年6月10日)

Fig.1. *Opisthoptatia orientalis* appeared in the campus of the Seto Marine Biological Laboratory at Shirahama, Wakayama Prefecture, Japan (June 10, 2011).

結果と考察

京都大学瀬戸臨海実験所の研究棟入り口付近から正門前の道路上(753.6m²)では, 中央の舗装部分は少数の出現で, 両側の芝生の植え込みによく現れる. 7月中旬に例年になく大量出現し, 大量に出現した3日間の個体数(最多で0.2個体/m²)を下記に記録する.

- (1)7月11日 19:59-20:11, 115 個体(生体)
- (2)7月14日 19:50-20:04, 148 個体(生体);
22:24-22:34, 41 個体(生体)+4 個体(死体)
- (3)7月15日 20:00-20:18, 105 個体(生体)
+1 個体(死体, 轢死)

夜間に雌雄と亜成体がみられたが, 交尾は確認できなかった. 薄暮に最も多数が出現した. 真夜中にも比較的多く見られたが, 明け方には

まったくいなくなった. 昼間には全く調査地点にはいないので夜行性である. 実験所構内からは各所で見つかっているが(久保田, 2010a), 実験所構内の西側から白浜半島先端区域は1個体も発見されていないので, 水族館の建物が分布の障害となっていると思われる.

引用文献

- 後藤 伸. 2000. 虫たちの熊野. pp. 77-81, 初版第1版, 紀伊民報, 田辺市, 和歌山県.
- 檜山嘉郎・久保田 信. 2002. 和歌山県白浜町産の熱帯系ゴキブリ類3種(ゴキブリ目, ゴキブリ上科). 南紀生物, **44** (2): 153-154.
- 久保田 信. 2006a. 久保田 信著 宝の海から白浜で出会った生き物たち. 233 pp., 紀伊民報, 田辺市.
- . 2006b. サツマゴキブリ和歌山県白浜町の海岸へ漂着. KINOKUNI, **70**: 10-11.
- . 2008. サツマゴキブリ(マダラゴキブリ科)を田辺市新庄総合公園の山道で発見. KINOKUNI, **73**: 10.
- . 2009. 瀬戸臨海実験所構内に出現した熱帯性ゴキブリ類の第3番目の種サツマゴキブリ(ゴキブリ目, ゴキブリ上科). 瀬戸臨海実験所年報, **22**: 36.
- . 2010a. 秋冬季に瀬戸臨海実験所構内に頻繁に出現した熱帯性のサツマゴキブリ(ゴキブリ目, ゴキブリ上科). 瀬戸臨海実験所年報, **23**: 65-66.
- . 2010b. サツマゴキブリ(ゴキブリ目, ゴキブリ上科)の白浜町と田辺市への再出現. KINOKUNI, **78**: 14.
- . 2010c. 和歌山県白浜町の白良浜に出現したサツマゴキブリ(ゴキブリ目, ゴキブリ上科). KINOKUNI, **79**: 14.
- . 2011. 夏から初冬に瀬戸臨海実験所構内に大量出現した熱帯性のサツマゴキブリ(ゴキブリ目, ゴキブリ上科). 瀬戸臨海実験所年報, **24**: in press.
- (2011年8月19日受領, 2011年9月4日受理)